ひと・夢・まち 町長コラム

こだわらず、困難を楽しめますか？（令和3年5月号） 西郷どんの教えその29

何かをしようとしたとき、困難なことが必ず起こる。そのとき、うまくいくかとか、失敗するかもしれないとか、自分の立場がどうなるだろうか、少しでもこだわってはダメなんだ。何かをするとき、得意、不得意もあるし、上手にできる人もいれば下手な人もいる。大事なことは、得意不得意ではなく、上手下手でもなく、一生懸命、時間がかかっても、その過程を楽しむような気持ちでやることなんだ。そうすれば、どんな困難にぶつかっても慌てることなくなくなるだろう。と、西郷さんは言っている。

確かに、何かに挑戦しようとしたとき、気持ちは前向きにポジティブになる。しかし、今、世界中がコロナ禍に包まれている生活の中で、何をすればというときに、その過程をけっして楽しむような気持ちにはなれない。だが・・・・・・・・

一人ひとりの行動が制限され、制約されている。ウイルスの恐ろしさ、異常気象による自然災害、そして核の脅威。私たちを取り巻く環境はけっして安寧ではないが、未来の子孫のためには明るい社会を創造しなければならないと思う。

「最後まで時間がかかっても諦めないことです」